

2019年第4回IEEE東京支部理事会 議事録(案)

日 時：2019年12月11日(水) 15:00～17:30

場 所：ガーデンエアタワー28階プレゼンテーションルームA

出席者：徳田 Chair、宇佐見 Vice Chair、滝嶋 Secretary、羽渕 Treasurer、
奥村 COC Chair、東盛 FNC Chair、中村 MDC Chair、桧垣 TPC Vice Chair、
稲森 SAC Chair、田中 PC Chair、山田 HC Vice Chair、重松理事、
高野 LMAG Chair、笹瀬 Past Chair、杉江 Past Secretary、眞田 Past Treasurer、
佐野 TOWERS 実行委員長、事務局、セクレタリアシスタント、書記

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 (資料1)
2. Japan Council理事会(2019年第3回)報告 (資料2)
3. 2019年東京支部活動報告 (資料3)
4. 2019年東京支部決算予想 (資料4)
5. 委員会2019年活動報告・予算執行状況および2020年活動計画・予算案【審議】
 - ・ Chapter Operations Committee (資料5-1)
 - ・ Fellow Nominations Committee (資料5-2)
 - ・ Membership Development Committee (資料5-3)
 - ・ Technical Program Committee (資料5-4)
 - ・ Publications Committee (資料5-5)
 - ・ Student Activities Committee (資料5-6)
 - ・ History Committee (資料5-7)
6. Affinity Group 2019年活動報告・予算執行状況、2020年活動計画・予算案【審議】
 - ・ Life Members Affinity Group (資料6-1)
 - ・ Young Professionals Affinity Group (資料6-2)
7. 2020年東京支部活動計画【審議】 (資料7)
8. 2020年東京支部予算【審議】 (資料8)
9. その他
 - ・ JC WIE 報告 (資料9-1)
 - ・ SIGHT 報告 (資料9-2)
 - ・ JC-Awards Committee 報告 (資料9-3)
 - ・ TENCON2020 への協力について (資料9-4)
 - ・ IEEE 事務局IT 化推進とメール配信ガイドラインについて (資料9-5)
 - ・ メール審議報告 (資料9-6)
 - ・ Region10 からのメール連絡一覧 (資料9-7)

議事：

0. Chairのご挨拶

Chairより開会の挨拶が述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議→承認】 (資料1)
Secretaryより、前回理事会(2019年9月)議事録の確認があり、異議なく承認された。
2. Japan Council 理事会(2019年第3回)報告 (資料2)
Secretaryより、2019年第3回理事会議事録(案)の報告があった。
3. 2019年東京支部活動報告 (資料3)
Secretaryより報告があった。
4. 2019年東京支部決算予想 (資料4)
Treasurerより説明があった。支出の部で、執行率の低い細目があること、決算は最終的に黒字を見込んでいることが述べられた。
5. 委員会2019年活動報告・予算執行状況および2020年活動計画・予算案
 - ・ Chapter Operations Committee (資料5-1)
COC Chairより活動報告があった。Past Secretaryより、年間を通じてMOUや支部共催は何件か(昨年は10件)と質問があり、例年通り(5、6件程度)*と回答があった。
Secretaryより、Chapterの支部移行に関してアンケートを実施しているので、結果について別途皆様に紹介すると発言があった。*2019年12月16日現在6件(COCのMOU)
 - ・ Fellow Nominations Committee (資料5-2)
FNC Chairの代理でSecretaryより、東京支部会員へのノミネーションならびに東京支部シニア会員への申請依頼を12月初旬に配信したこと、1月初旬に再配信を予定していること、ノミネーションの現状と申請に向けた心構えを新規追加して配信したこと、2020年フェロー昇格者等の説明があった。
 - ・ Membership Development Committee (資料5-3)
MDC Chairより、会員数に1%以上の減少(前年同月比)があったこと、支部シニアメンバが2名増えたこと(直近3年と同水準)、前回理事会以降の活動、今後の活動計画が述べられた。LMAG Chairより、ライフフェローが8名増、フェローが8名減(前年同月比)はどのような意味か、増えていないのかと質問があり、単純な経年によるもの、また会費未払いで保留になりカウントされなくなった場合があるかもしれないと回答があった。

・ Technical Program Committee (資料5-4)

TPC Vice Chairより、2019年は最後に第10回TPC講演会を予定していること、2020年の主催講演会回数や費用は2019年と同程度であること、YPとの連携を検討していること等の説明があった。Secretaryより、2020年費用増(前年度比)の用途は何かと質問があり、別途回答すると発言があった。Past Secretaryより、このYPと連携した講演テーマは学際分野の受け皿になり得るので是非取り組んで頂きたいと発言があった。

・ Publications Committee (資料5-5)

PC Chairより、IEEE Tokyo Bulletinを発行したこと、メルマガを発信したこと、R10 Newsletterへ投稿したこと、IT化を推進したこと等の報告があった。2020年は、集客向上を目指してBulletinやメルマガを拡充すること、このために今後のイベント情報を寄せて欲しいこと等が述べられた。Secretaryより、Bulletinやメルマガを会員接点拡大のツールとすべく、有効な使い方があればご提案をお願いしたいと発言があった。Chairより、IEEEスマホアプリを使ってみたが、本部情報だけでJCや支部の情報にたどり着けない、ローカライズが十分でないのでその方法の確認をお願いしたいと発言があった。

・ Student Activities Committee (資料5-6)

SAC Chairより説明があった。2019年は The 16th IEEE Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers (TOWERS)、IEEE Tokyo SYWL Workshop & IEEE Day Party 2019等を開催したこと等が報告された。2020年は The 17th TOWERS、Seoul Sectionとの学生交流、東京支部配下SBへの活動支援等を予定していることが述べられた。Past Treasurerより、以前にいくつかの大学で様々な活動があったが現状はどうか、また旅費の用途は何か、と質問があり、連絡のとれない大学はカウンセラーの先生に連絡を試みることで、旅費は役員参加のためとの回答があった。Secretaryより、SBの6月以降の活動は無かったのか、Probationが気になっている、と質問があり、2019年の活動として12月14日に電通大で予定していること、Probationはカウンセラーの先生に説明していると回答があった。SAC Chairより、TENCON等イベントに学生を参加させるための旅費をどのように確保したらよいのかと質問があり、Secretaryより、まず立案頂き、その後に予算を調整したいと回答があった。TOWERS実行委員長よりThe 16th TOWERSの報告があった。

・ History Committee (資料5-7)

HC Vice Chairより、「HEMT」のIEEE マイルストーン贈呈式を予定していること、遺留指紋自動識別システムのBOD承認が完了したこと、HISTELCON2019に参加したこと等の報告があった。2020年は2019年同様の計画であることが述べられた。Chairより、

「遺留指紋自動識別システム」は2020年中に贈呈式まで進むのか、また「動的単一モードレーザー」は小山教授に連絡すればよいかと質問があり、いずれもその通りと回答があった。Secretaryより、「他支部への推薦の働きかけと支援を行う」計画は他支部で進んでいない背景があるのかと質問があり、その通りと回答があった。Past Chairより、費用面について受賞確定後どうなるのかとの質問と、外国(イタリア)では英語の他に現地語表記のプラークを設置した事例があると聞いているので、日本でもできないかとの打診があり、プラーク及び贈呈式会場は会社負担であること、日本語表記への対応は調査すると回答があった。

6. Affinity Group 2019 年活動報告・予算執行状況、2020 年活動計画・予算案

・ Life Members Affinity Group (資料6-1)

LMAG Chairより、講演会5回、見学会2回、イブニングサロン1回を実施したこと、仙台支部LMAG 設立と発足へ協力したこと等の報告があった。2020年は他支部及び他 Affinity Group等の催しへの参加・交流等を計画していること、役員選出に関わるBylawsの変更を検討していること等が述べられた。Treasurerより、Newsletter紙媒体郵送に伴う予算増はどの程度かと質問があり、精査すると回答があった。Chairより、紙媒体郵送についてLMAG関係の情報だけでなく東京支部の様々な情報を見て欲しい、スマホも普及している、紙媒体でないのが難しいのかと質問があり、スマホが扱える人の間でも紙媒体のニーズはあるが検討したいと回答があった。

・ Young Professionals Affinity Group (資料6-2)

YP Chairの代理でSecretaryより、SYWL Workshop / IEEE Dayを実施したこと、2019年活動として「はじめての卒業論文」(12月21日)を予定していること等の報告があった。2020年はTENCONやR10 SWYL Congressの参加を予定していること、ボランティアの募集をすること等が述べられた。Treasurerより、「はじめての卒業論文」の講義資料をWEB等で共有頂くと有難いので検討して欲しいと発言があり、伝えると回答があった。

7. 2020 年東京支部活動計画 【審議→承認】 (資料7)

Secretaryより、理事会予定、財政運営方針、講演会・学生支援活動予定、若手会員及びLife会員向け活動の活性化策、会員数の増強、Industry Promotion活動の強化施策、関連組織との連携・協力、TENCON2020への支援等の計画の説明があり、異議なく承認された。

8. 2020 年東京支部予算 【審議→承認】 (資料8)

Treasurerより、為替レート103円/ドル、SA還元率15%で立案していること、役員交代のため理事会・各委員会費やその他会合費を増額していること、IT化推進に伴いサーバ

運営費を増額していること、赤字予算であること、昨年も赤字予算を組んだが実績は黒字になり2020年も赤字幅の圧縮や黒字転換を見込めること等の説明があり、異議なく承認された。Chairより、支出の部「その他会合」の増額分使途はどのような目算かと質問があり、ブレ幅があるため不明である、減額の可能性はあるが予算化の必要はあり、同様に不測の事態に備えて吸収できるよう予備費も余裕をもって計上していると回答があった。

9. その他

・ JC WIE 報告 (資料9-1)

SAC Chairより報告があった。GCCE2019 WIE AwardやWIE2019プレイベント&WIE2019を開催したこと、2020年に支部移行完了を予定していること等が述べられた。Secretaryより、支部移行に関して東京支部として設立するのかと質問があり、その通りと回答があった。COC Chairより、託児所を準備する他に託児所に預けるための費用補助もある、どちらがよいか議論があったかと質問があり、個々で手配が必要なので、参加者に寄り添った対応となると託児所を準備した方がよい、費用補助を望む人がいるかもしれないと回答があった。

・ SIGHT 報告 (資料9-2)

SIGHT Chairの代理でSecretaryより、青森県むつ市ユメココ教室への参加、来年度の予定について報告があった。

・ JC-Awards Committee 報告 (資料9-3)

Past Secretaryより、2019年JC Award Committee全体会合の出席報告があった。フェローの数や日本からの本部委員数が減少していること、テクニカルな成果が重要なのでChapterと連携を取る予定であることやフェロー選定手順等が述べられた。Secretaryより、JC AC以外にも内容が共有されたかと質問があり、関連が強いFNCとは個別に共有すると回答があった。LMAG Chairより、フェロー選定についてRegion間のバランスに加えテクニカルソサイエティ間のバランスも考慮されているのかと質問があり、ソサイエティ間で難易度の差があることを認識しており、調整のため一定の考慮があるようであると回答があった。

・ TENCON2020 への協力について (資料9-4)

Secretaryより説明があった。会計責任分担について支部合意形成の依頼があり、異議なく合意形成された。これを受け、TENCON2020 Japan Sections Supporting Committee 委員(各Section当り2名)選出の依頼があり、委員の適正を考慮の上、SecretaryからSecretaryとYP Chairの提案があり、異議なく承認された。

- ・ IEEE 事務局IT 化推進とメール配信ガイドラインについて (資料9-5)

Secretaryより、IT 化推進について、Garoon導入後の使い勝手や要望などを伺うアンケートを予定しており、回答協力の依頼があった。メール配信ガイドラインについて問い合わせを頂くので、誰がどのような配信をできるか等を基準を具体化、ご意見等頂ければ反映すると発言があった。

- ・ メール審議報告 (資料9-6)

Secretary より説明があった。

- ・ Region10 からのメール連絡一覧 (資料 9-7)

[その他]

・Secretary より、R10 に活動内容を報告すると活動に対してインセンティブと呼ばれる資金を獲得できること、10 月までの活動を報告したところ東京支部はインセンティブを受け取るようになったことが述べられた。また、講師への御礼や一般の方々への記念品、ノベルティの調達(年内調達、原資はインセンティブの一部)を検討しており、ご意見があれば頂きたいと発言があった。

次回2020年第1回理事会を4月3日(金)機械振興会館にて開催することが周知された。

以上